

## 要 旨

試験委託者

環境庁

表 題N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)オレアミドのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験試験番号

NMMP/E99/4030

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

被験物質	: N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)オレアミド
方式	: 半止水式(24時間換水)
供試生物	: ヒメダカ ( <i>Oryzias latipes</i> )
試験濃度	: 対照区、助剤対照区、0.53mg/L、0.95mg/L、1.71mg/L、3.09mg/L、5.56mg/L および10.0mg/L(設定濃度) (追加試験)対照区、助剤対照区、10.0mg/L
曝露期間	: 96 時間
試験液量	: 3.0L
生物数	: 10 尾/濃度区
照明	: 室内光、16 時間明/8 時間暗
エアレーション	: なし
温度	: 24±1℃

結 果

試験の結果、N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)オレアミドの実測濃度の幾何平均値に基づく96時間の半数致死濃度(LC50)は1.5mg/Lであり、その95%信頼区間は1.1mg/L～2.2mg/Lであった。